

子どもの脳って、 今どうなってるの？

—脳科学者と考える文化的処方—

子どもたちは、アートと出会うとき、何を感じ、学んでいるのでしょうか。
脳科学の知見と教育実践をつなぎ、美術館での学びが
子どもの成長にどのようにつながるかを一緒に探ります。

2026 **7/31** (金)

10:30~17:00 受付 10:00~

| 会 場 | MIHO MUSEUM

| 対 象 | 教育・学校関係者、文化施設、文化
芸術や教育に関わる一般、学生など

| 定 員 | 100 名

| 参加費 | 一般 1100 円、大学生 800 円 (入館料として)
※入館料はレセプション棟 (受付) でお支払いください。
※招待券・友の会の方は、入館料不要となります。美術館棟受付にてご提示ください。



10:30

挨拶

10:35~11:20

講演「子どもの脳を育む環境

— 睡眠、疲労と芸術から考える子どものウェルネス —」

講師：大阪公立大学 健康科学イノベーションセンター

センター副所長 水野 敬 氏

11:30~12:15

模擬授業「MIHO 美学」

講師：MIHO MUSEUM 特任学芸員 畑中章良 氏

13:30~14:25

実践事例報告

大阪公立大との連携による「子どもの身体活動と芸術性の検証」

滋賀県立陶芸の森、滋賀次世代文化芸術センターの実践より

14:30~15:30

対談「芸術がいかに脳に大切か」、意見交換

15:35~17:00

自由鑑賞 夏季特別展「虹色みつけた！」・南館常設展



| 申込み |



7月29日 (水)

参加希望の方は QR コード
または当館 HP よりご登録
ください

【お問合せ】 information@miho.jp (夏季美術館研修会担当)

【主催】 MIHO MUSEUM、滋賀県立陶芸の森、滋賀次世代文化芸術センター

【後援】 滋賀県教育委員会、大津市教育委員会、草津市教育委員会、守山市教育委員会、甲賀市教育委員会